



おにぎり通信

2014年9月20日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

昨日、9月19日は埼玉県行田市で出土した稲荷山古墳鉄剣の銘文115文字が解読された日です。1978年のことです。鉄剣は1968年に発見されたもので、この日のX線検査で両面に115文字の漢字が彫られていることがわかりました。稲荷山古墳鉄剣に書かれていた出来事が基準点になり、その前後に起きた歴史的事実の実年代を決めるのに大きく役立ったと言います。稲荷山古墳鉄剣は1983年、国宝に指定されています。

☆9月8日 福祉行動報告

どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動:9月22日(月)
東京駅丸の内北口地下・喫煙所脇の車輪のところに朝8時30分までに集合してください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」までボランティアが同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は参加される方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

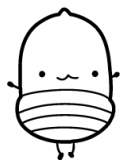
最寄の福祉事務所と生活相談室
中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所…千代田区九段南 1-2-1 3階
聖イグナチオ生活相談室…千代田区麴町6-5-1

<iPS細胞の移植手術>

9月12日、「iPS細胞」から作られた組織を人に移植する手術が世界で初めて行われました。患者は目の網膜組織に傷が付き、視力が急激にするとという難病を抱えていた70代の女性です。移植手術に先立ち、患者の皮膚から「iPS細胞」を作成。約10カ月間、培養してシート状の網膜組織に変化させ、女性にの体内に移植しました。

「iPS細胞」は骨や神経、内臓など身体の中のどの部分にも変化できる万能細胞です。人間の細胞は母親の胎内で細胞分裂を繰り返し、骨や内臓などの役割が決まると、その役割を変えることはできなくなるとされています。そこで、いったん役割が決まった細胞を役割が決まる前の状態に戻し、どの部分にも変化できるようにしたのが「iPS細胞」です。

山中伸弥・京都大学教授は2006年にマウスの細胞で、2007年に人間の細胞で「iPS細胞」を作成することに成功し、2012年、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。今回の移植手術は「iPS細胞」を使った治療が安全に行うことができるかを確認する段階のものですが、今後、「iPS細胞」を使った治療が広く普及し、多くの難病克服に役立てられることが期待されています。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 (岩田)